

## 「岩手の復興と再生に」 オール岩大パワーを

vol.49

<http://www.iwate-u.ac.jp/koho/fukkouletter.shtml> 岩手大学ホームページからご覧いただけます。

### 岩手大学東日本大震災復興支援活動報告会

～東京都北区・板橋区を中心とする首都圏の皆様へ感謝を込めて～を開催しました

岩手大学では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、津波で実家を失うなどの被災に遭った学生を支援するため、東日本大震災被災学生への募金をお願いしております。

被災学生に対しましては、本学として入学料免除、授業料免除などできるかぎりの支援を行っておりますが、皆さまからの募金は被災学生への奨学金等に活用させていただいております。

被災学生募金には、震災後に北区・板橋区の企業・一般市民の方々が中心となり立ち上げた「岩手大学被災学生支援の会」(以下、支援の会)をはじめ全国の多くの皆様からご支援を頂いています。

このご支援に感謝の意を込め本学の復興支援活動を報告するため12月11日に東京都北区の北トピアを会場に、岩手大学東日本大震災復興支援活動報告会を開催しました。

報告会では、まず支援の会を代表して東京都北区にある渋沢史料

館長 井上 潤様よりご挨拶と支援の会設立の経緯について紹介いただきました。

また、八代 仁岩手大学副学長が岩手大学の被災状況や復興への取り組みと平成28年度に新設する水産系教育研究組織などについて報告しました。

続いて、岩手大学の被災学生を代表して岩手大学工学研究科博士前期課程の大和田周平さんが、自身の被災体験とこれまでの修学状況について報告しました。大和田さんは、震災により実家が半壊の被害を受け、それ以降、被災学生への奨学金を受給し、修学を継続してきました。大和田さんは、「奨学金の支援がなければ経済的理由で大学卒業をあきらめていたかもしれない」と話し、ご支援いただいた皆様への深い感謝の気持ちを述べました。

岩手大学は被災地にある大学として、今後も被災した地域や住民

の方に寄り添い、また新たな地域を創生できるような学生を輩出できるように取り組んでいきますので、今後ともご支援ご協力いただきまますようお願い申し上げます。



沢山の支援者の方にご参加いただいた報告会の様子



支援の会を代表して井上潤様(右)からお話いただきました



報告者の大和田さんへ支援の会より記念品が贈られました

### 岩手大学・東京海洋大学・北里大学主催で 「第5回全国水産系研究者フォーラム」を開催しました

12月19日、「第5回全国水産系研究者フォーラム」(主催：岩手大学・東京海洋大学・北里大学)が東京海洋大学にて開催されました。

平成24年1月に釜石市で開催された第1回フォーラムにおいて、水産研究者等の参加者全員が三陸の水産復興を願い、人材育成や研究・教育拠点の形成を図ること等を宣言してから、継続して開催しています。

はじめに、垣添直也元日本水産(株)代表取締役社長が「売れる水産物を造るためにはどのような努力が必要か」と題してグローバルな視点に立った水産物の売り方について基調講演を行いました。

次に、「岩手大学三陸水産研究センターを研究教育拠点として確立するための3大学連携の今後のあり方」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。平成27年度は、3大学が復興推進を目的に連携して取



垣添元日本水産(株)代表取締役社長



パネルディスカッションの様子

り組んでいるSANRIKU(三陸)水産拠点形成事業が最終年度となる節目になる年でもあります。パネリストたちは平成28年度に岩手大学に新設される水産システム学コースの学生の人材育成やどのような方面で協力していけるか等を討論し、3大学が被災地の復興を推進するために取り組んだ研究成果をまとめることは東日本のみならず日本全体にとって貴重なものであること、そして、事業が終了しても連携して研究に取り組むことが必要であることを確認しました。

# 岩手大学三陸復興プロジェクト

岩手大学では岩手大学三陸復興推進機構を設置し、地域の行政や住民、他大学、企業等と連携を図りながら、教職員・学生が一丸となって東日本大震災からの復興に取り組んでいます。今回は、三陸産ワカメの香気成分の分析を進めている水産業復興推進部門の活動の一例をご紹介します。

## 先端的におい解析システムを用いた三陸産ワカメの香気成分の分析

三陸復興推進機構 水産業復興推進部門 新素材・加工技術部門

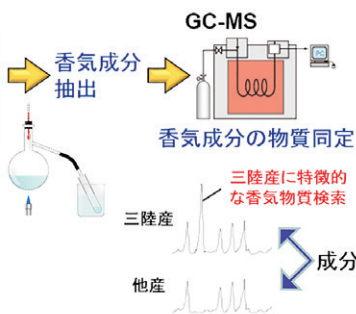
山下 哲郎 (農学部 教授)

三陸産ワカメは国内のワカメ生産量の75%を占めており、肉厚で弾力性が高く歯ごたえのある食感が特徴で、「三陸ワカメ」としてブランド化されています。私たちは、三陸ワカメの美味しさの秘密を科学的な視点から明らかにすることや、新たなワカメの産地判別法を開発することを目的として、味・食感とともに食品の質を決める重要な要素である香りに着目して、三陸産ワカメと国内外の他産地のワカメで香気成分の組成の違いを解析しています。

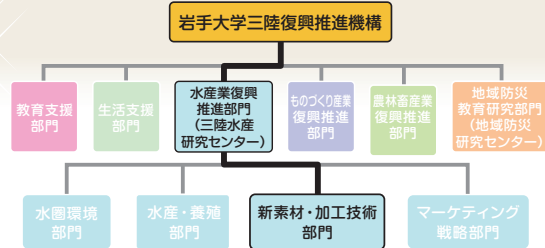
これまでの研究成果として以下のようなことが明らかになっています。食品の複雑な組成の香気成分をロスなく高分解能で同定するための香気濃縮装置-二次元GCMSシステムを構築しワカメ香気成分の網羅的解析を行い、海藻ワカメと塩



他産ワカメ



品の複雑な組成の香気成分をロスなく高分解能で同定するための香気濃縮装置-二次元GCMSシステムを構築しワカメ香気成分の網羅的解析を行い、海藻ワカメと塩



蔵ワカメからそれぞれ2000個以上、1000個以上の化合物を検出することができました。この研究により、これまでにワカメ香気的主要成分とされていた cubenol はどちらのサンプルからもほとんど検出されず、従来の定説を覆す結果が得られました。また、産地ごとに特有の香気成分が存在することが明らかになり、今後、香気成分の違いを利用した産地判別法を開発できる可能性が高いと考えられます。本研究で確立した香気成分の分析法を用いて、ワカメだけでなく、昆布や魚介類などの三陸産食品の香気成分の解析を行っています。食材の生産地や加工条件などの違いによって食品の香りにどのような変化が見られるかを明らかにすることにより、三陸の水産加工企業様の新製品の開発や品質管理に貢献したいと考えています。



香気濃縮装置-二次元GCMSシステム

# 釜石サテライトだより

新年おめでとうございます。今冬は暖かい日が続いており、沿岸でも過ごしやすいく正月になりました。釜石サテライトでは、大型プロジェクトの終了による研究成果の取りまとめや4月から新設される水産システム学コースのための研究室の模様替え等で慌ただしく過ごしています。

最近の釜石サテライトの活動状況について報告します。

## ●漁業後継者対策の取り組み

三陸地域の水産業は、震災後に多くの補助金を導入し、外部から見ればほぼ震災前の形に戻りつつありますが、漁業センサス統計によると、県内漁業者の経営体数が震災前の5,313から震災後は3,365と激減しています。三陸ブランドを維持するためには、これ以上の漁業者の減少による生産体制の縮小を食い止める必要があり、岩手大学としても後継者対策のための人材育成は重要な取り組みの一つであります。

釜石サテライトでは、釜石市からの委託事業「[魚のまち]釜石モデルアクションプラン実証事業」の一環で、漁業等後継者育成のための情報収集及び準備活動を目的とした金沢大学などが主催する「能登里山里海マイスター育成プログラム」についての視察調査を平成27年9月12、13日において実施しました。

能登地方にターンで移住しマイスター育成プログラムを受講した2名の方から現地ヒアリングを行い、海士を営む後藤氏からは、「子供達と一緒にカヤックで漁場へ移動してサザエを素潜りで獲るような後継者を育てるための体験プログラムを実施したい」などの話を聞きました。



能登半島の先端部で海士を営む後藤祐介氏(右端)



中村浩二金沢大学特任教授によるセミナー

当該プログラムは、直接後継者を増やすような作用はありませんが、受講者が地域のリーダーとなって将来後継者を育てる人材となる可能性があり、また、プログラムに参加した者同士や教員と積極的に交流することで確実な定住に繋がると感じました。

また、11月24日に「能登里山里海マイスター育成プログラム」の統括責任者である中村浩二金沢大学特任教授を講師として釜石市に招いて、漁業・農業後継者育成担い手確保対策セミナーも開催しました。

## ●漁業協同組合女性部との釜石産水産物の販路拡大について

釜石サテライトでは、釜石市内の漁業協同組合女性部と共に、釜石産水産物の販路拡大の取り組みとして平成27年10月11日、山口県萩市の道の駅「萩しーまーと」の『萩・魚祭り』内でブース販売を行いました。釜石産の焼きサンマ200尾、焼きホタテ210個には行列ができ午前中に完売しました。海藻加工品のマツモヤフリは知名度がないため苦戦しましたが、萩地域にはない塩蔵コンブはほぼ売り切りました。

また、「萩しーまーと」と漁協間での継続的な連携の取り組みを図るため、12月4日に道の駅「萩しーまーと」の中澤さかな駅長を講師として釜石市に招き、釜石水産物ブランド化セミナーを開催しました。



釜石ブースでの焼きサンマ・ホタテに並ぶ人々



道の駅「萩しーまーと」中澤さかな駅長によるセミナー

今後、様々なプロジェクトが展開される中で、現場窓口としてサポートさせていただきます。

## 連絡先 岩手大学三陸復興推進機構釜石サテライト

〒026-0001 岩手県釜石市平田第三地割75-1  
 TEL:0193-55-5691(代表) / FAX:0193-36-1610  
 E-mail:kamaishi@iwate-u.ac.jp  
 URL:http://www.iwate-u.ac.jp/reconstruct/kamaishi/

# Information



岩手大学は、多くの皆様からご協力いただいた「岩手大学学生支援基金」「岩手大学被災学生支援募金」等を引き継ぎ、「岩手大学イーハトヴ基金」を創設しました。本基金は、本学の教育研究や学生支援を幅広く展開することを目的とした「一般基金」と、東日本大震災により被害に遭った学生たちへの修学支援など、用途を特定した「特定基金」で構成されます。多くの皆様方のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。詳しくは、岩手大学イーハトヴ基金ホームページをご覧ください。

●岩手大学イーハトヴ基金ホームページ <http://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/>

